

鉄筋コンクリートの建物は 80～100 年使えます

産業文化会館(築 32 年)は改修して利用を！



建物は改修して長く使う時代です、まだ十分に使える「産業文化会館」

一般的に鉄筋コンクリートの建築物の耐用年数は 50 年と言われます。一方で、建物の補償基準としての耐用年数は 80 年です。

建築学会は、大規模改修不要予定期間を 65 年、供用限界期間を 100 年としています。手抜きでなく、きちんと施工された建物は、適切にメ

隣地買収に高い補償費・11 億円

「広場」整備のために買収する用地に建つ 2 棟のビル (S50 年・S56 年「産文と同年」建設、2 棟で 4,150 m²) の補償費は、11 億円です。産業文化会館 (11,849 m²) を同じように計算すれば、価値は 30 億円です。用地買収に高い補償費を払い、価値ある産業文化会館を取り壊すのはもったいない話です。

ンテナンスすれば、半永久的に使用できるとの専門家の指摘もあります。

青森県では、既存施設の改修による目標使用年数を 88 年として、長く大事に使う方針です。

産業文化会館も改修して、あと 50 年、70 年と使うべきです。

「広場」は、辛島公園の活用を！

桜町花畑地区シンボルプロムナード計画では、辛島公園 (3,436 m²) が多面的広場の役割を担うことになっていました。市が産業文化会館をわざわざ壊して整備する「広場」は、辛島公園より狭い 2,900 m²です。20 億円もかけてつくる必要があるとは思えません。辛島公園を多目的広場として有効に活用すべきです。

「中心市街地に中規模ホールが必要」というのが「市の方針」

市が設置した文化ホール検討会議では、2010 年に「中間報告」がだされ、中規模ホールが花畑地区には必要とし、室内楽や文化芸術活動の発表の場にふさわしい舞台・客席などを整備し、さまざまな舞台芸術活動を支援する役割を想定、客席数は 500 から 700 席、ステージ面積は約 180 m²とされました。

MICE 施設(大会議場)は、文化芸術施設ではありません

現在ある国際交流会館や森都心プラザのホールなど、可動席の多目的ホールは、音響や舞台の広さなど、演劇や音楽の鑑賞・上演に適したものではありません。MICE 施設(大会議場)に整備予定の多目的ホールや国際会議ホールは、いずれも固定席のない多目的ホールです。文化芸術を目的につくられた産業文化会館の代わりにはなりません。

【控室から】 安定した雇用の創出を

上野 みえこ

早い桜が咲き、卒業の季節を迎えました。

厚生労働・文部科学両省が発表した、今春卒業予定(2月1日時点)の大学生の就職内定率は 81.7%、昨年と比べ、わずかに改善したという報告ではあるもの、内定を得ていない大学生が 8 万人もいるという推計です。リーマンショック以来続く深刻な雇用状況は、抜け出せていません。パート・アルバイト・派遣などの非正規雇用が広がる中、若い人が、高校・大学等を出て、安心して働ける安定雇用の必要性を強く感じます。

一方、徳島大学では、この 4 月から、有期雇用職員(教員系を除く)の雇用期限が撤廃になるというニュースがありました。約 1000 人の有期雇用職員が対象となるということであり、現場労働者・労働組合の運動の苦労が実つてのことで、雇止め改善ということでは画期的だと思います。このような経験を力に、安定した雇用の創出に一層頑張っていきたいと思いました。



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市手取本町 1-1 議会棟 3 階

No. 842
2013 年 3 月 24 日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム: <http://www.jcp-kumamoto.com/>



大型ハコもの優先から、暮らし・福祉・教育の充実へ！

大型会議場建設には、議会からも慎重意見が続出

幸山市長は、「九州の中で、日本の中で、東アジア地域からも選ばれる都市くまもと」の実現のため、桜町再開発に参加し、大型会議場建設を進めています。市は、建設費を根拠も示さず2百数十億円と発表。13年度は、2200万円の「基本計画」策定費を提案しています。

日本共産党は、益田牧子議員が、一般質問で、那須円議員が、総括質疑で、「民間のホテルや県のグランメッセ・県立劇場や、市民会館、国際交流会館に加え、産業文化会館を再開すれば、コンベンションの開催などには、対応できる」と大型会議場建設に反対しました。

経済委員会では、自民党やくまもと未来の議員からも、現実味のない見積もりで、再開発に参加することに慎重意見が相次ぎました。

熊本市「配偶者暴力相談支援センター」設置検討へ

益田牧子議員は、婦人相談員業務充実のため、「配偶者暴力（DV）相談支援センター」の早期実現を求めました。幸山市長は、「相談件数も増えており、DV相談支援センター設置を検討している」と答弁しました。DV防止法は、07年（H19）改正され、「配偶者暴力相談支援センター」の設置を市町村の「努力義務」にしました。しかし、熊本市では、区役所開設後、婦人相談員が所属する「福祉相談係」には、DVなどの相談業務に桃尾霊園の申請業務、さくらカード申請、老人クラブ関係、戦没者遺族等の援助等が新たに加わり、専門性が薄れていました。

全国の政令市では、北九州市、福岡市のほか、岡山市、相模原市、新潟市、堺市など13市がすでにDV相談支援センターを設置。独自に関係機関との連携を行い、迅速かつ適切な加害者からの保護、並びにDV被害者の自立に向けた支援を行っています。

あなたは熊本市と鹿児島市どちらを選びますか？

熊本市と鹿児島市の福祉・暮らしの施策を比較してみました。熊本市の遅れが歴然です。福祉・暮らしの充実に力を合わせましょう！

福祉・子育て、暮らし	熊本市	鹿児島市
子どもの医療費助成	小3まで（無料は満3歳まで、その後は、1科につき月500円自己負担）	小学6年生まで無料（本年8月から拡大）
特定健診自己負担	1000円（非課税・生保のみ無料）75歳以上800円	無料（40歳以上）75歳以上も無料
はり灸マッサージ	1000円を30回まで助成	1050円を60回まで助成
高齢者への肺炎球菌ワクチン接種助成	なし	3000円助成、75歳以上
高齢者へのおむつ支給	介護4、5（非課税） 介護保険対応 対象者165人（H23）	介護4、5（年10万円、現物を2か月分ずつ自宅まで配達） 介護3以下（年5万円〃） 入院（月4000円現金） 高齢者福祉で対応 対象者6771人（H23）
介護手当	城南町のみ6万円（年間）	9万円（年間）
寝たきりの高齢者への理髪・美容サービス	なし	年3回まで、在宅までの出張サービス
敬老祝い事業	満80歳祝品1000円 満88歳祝品2700円 満100歳祝品・2,7万円 〃101歳以上2700円	満88歳 祝金3万円 満100歳 祝金10万円 100歳以上 祝金20万円
すこやか入浴券、70歳～	なし	230円助成、年30回
住宅リフォーム助成	なし	3億円の予算